

# 小平市 農業委員会だより



令和元年9月(2019年)

発行：小平市農業委員会 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地  
電話：042-346-9533(直通) FAX：042-346-9575

## 第22号

### こだいら農業ふれあいツアー



寄せ植え体験(若林農園)

ブルーベリー摘取り(田中農園)

エダマメ農園見学(川里農園)  
川里章さん

JA東京むさし、小平市都市農政推進協議会主催によるこだいら農業ふれあいツアーが、7月14日(日)に開催され、夏休みを利用した親子連れなど、78名が参加しました。

当日はあいにくの雨にも関わらず、寄せ植え体験→エダマメ収穫体験(雨により、農園見学)→ブルーベリー収穫体験では、参加者全員熱心に農家の方の話に耳を傾け、特に子どもたちに人気のブルーベリーは、みんな笑顔で摘んでいました。

各種体験を済ませた後は、JA東京むさし小平支店で小平産の野菜を使った「小平地野菜弁当」を食べながら、栄養士さんによる野菜についてのお話を伺い、その後、参加した子どもたちから小平農業への質問コーナーなど、内容盛り沢山のツアーとなりました。



# 特定生産緑地制度説明会のお知らせ

平成29年に生産緑地法が改正され、生産緑地地区の都市計画決定から30年を経過する前に、買い取り申出が可能となる期限を10年延長する手続きを行うことで、従来適用されていた税制措置を継続する『特定生産緑地』制度が創設されました。

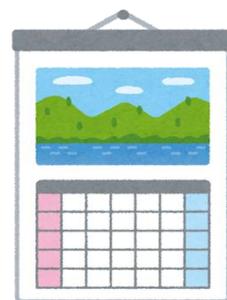
市内には、当初決定から30年を迎える生産緑地が多数あることから、所有者の皆様にも、円滑に特定生産緑地の移行手続きを行っていただけるよう、進めてまいります。

つきましては、都市計画課より30年が経過する日（申出基準日）をお知らせしますとともに、制度及び手続きに関する説明会を開催しますので、ご確認、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

## 1. 申出基準日等のお知らせ

将来の特定生産緑地指定の参考としていただくため、8月末頃より「小平都市計画生産緑地の申出基準日到来状況等のお知らせ」をお送りし、市内の全ての生産緑地について、指定期日となる申出基準日等の情報をお知らせします。

特に、平成4年～平成5年にかけて都市計画決定した生産緑地を、令和2年4月から受付を行い、同年内より特定生産緑地指定告示を行う、当面の指定手続きの対象とします。これらの生産緑地については、令和2年3月頃、手続きのための書類を、改めて所有者の皆様へお送りいたします。



## 2. 生産緑地所有者向け説明会の開催（令和元年度）

市職員より、特定生産緑地制度に関する留意点や今後のスケジュールなどを説明いたします。事前申込みは不要です（先着順）。ご都合に合わせて、お気軽にご参加ください。

### 《日時・会場》

- |          |          |                     |
|----------|----------|---------------------|
| 9月21日（土） | 午後1時30分～ | 中央公民館（定員60名）        |
|          | 午後3時30分～ | 同上                  |
| 9月24日（火） | 午後3時30分～ | 小川西町公民館（定員70名）      |
|          | 午後6時30分～ | 小川町一丁目地域センター（定員90名） |
| 9月25日（水） | 午後3時30分～ | 鈴木地域センター（定員50名）     |
|          | 午後6時30分～ | 大沼地域センター（定員56名）     |
| 9月27日（金） | 午後3時30分～ | 中央公民館（定員180名）       |
|          | 午後6時00分～ | 同上                  |

※各回とも同内容で、一時間程度の予定です。



ご不明な点は、都市計画課もしくは農業委員会事務局までお問い合わせください。



# 農業振興事業の

## ご案内



市では現在、様々な農業振興事業を行っています。

農業者の皆様には、毎年3月に行われます地区別座談会にてご案内いたしておりますが、下記の一覧にて今一度ご確認ください。

なお、事業内容は年度によって変更いたしますので、詳しくは小平市産業振興課（Tel 042-346-9533）までお問い合わせください。

名称	事業対象者	対象の事業	補助率
<b>補助金制度</b>			
地域農業担い手支援事業	認定農業者	農業用資材や農業用機械の購入・整備に対する支援等	1/2 ※150,000円を上限とする
都市農業活性化支援事業	農協又は3戸以上の農家で構成する営農集団等	パイプハウス等生産施設、流通・販売施設等	3/4以内（都2/4・市1/4） 又は 11/12以内（都2/3・市1/4）
畑からまっしぐら事業	J A東京むさし	直売販路の推進（個人直売所、のぼりなどの施設・資材）等	1/3以内又は1/2以内
環境保全型農業推進事業	J A東京むさし	環境保全型資材（生分解マルチ、フェロモンルアーなど）等	1/3以内又は1/2以内
産業まつり（農業部門）補助事業	産業まつり農業祭部門運営委員会	産業まつり運営費用の一部	定額（予算の範囲内）
地域と歩む農業推進事業	各農業団体等	市民との交流や地産地消を推進するイベント等	2/3以内又は10/10以内
小学校給食地場農産物利用促進事業	小平市内の全小学校	小学校で学校給食に使用する地場農産物を購入した費用の一部	1/5以内
地産地消推進事業	J A東京むさし	J Aが学校給食等に搬入するための車両経費等	定額（予算の範囲内）
都市農地保全支援プロジェクト事業	営農集団	防災機能を強化するための整備等	9/10以内（都3/4・市3/20）
<b>補助金以外の事業</b>			
農商連携推進事業（地産地消）		収穫体験、小平産農産物を使った市内飲食店等の飲食の提供等	
学童農園事業		学童農園の運営費用	
花小金井南口花壇整備事業		花小金井南口花壇整備にかかる費用	

# GAP認証制度について

GAP（ギャップ）とは、「Good（良い）Agricultural（農業）を Practice（実践）する」の略ですが、一般的には、「農業生産工程管理」と呼ばれ、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の維持可能性を確保するための取り組みをいいます。

東京都では、持続可能な東京農業の実現と東京 2020 大会における都内産農産物の活用に向けて、都内農業者の GAP の認証取得を促進するため、東京都 GAP 認証制度が平成 30 年度から開始されました。

小平市内の農家の方も、東京都 GAP の取得を目指し、取得項目に従って適切な作業や管理ができていくかを点検・評価、改善をしながら、農産物（食品）の安全を確保し、より良い農業を実現するために整備を行っております。

東京都補助事業「GAP 認証農産物普及促進事業」によって施設整備に対する補助を受けることもできますので、GAP 制度に興味がある方は中央農業普及改良センター（Tel 042-465-9882）までご相談ください。

認証取得者一覧（令和元年7月17日現在）

取得者	地区	GAP 認証種別	認証品目
川里農園（川里 章）	花小金井	東京都GAP・JGAP	エダマメ
にごりや農園（小野 幹雄）	小川町	東京都GAP・AS I AGAP	トマト,ナス,キュウリ, スイートコーン,エダマメ
宮奈農園（宮奈 彰男）	御幸町	東京都GAP・JGAP	トマト,ピーマン
向野農園（向野 弘）	上水本町	JGAP	タマネギ

## ご案内



### 全国農業新聞の購読を 週刊発行の農業専門総合紙

全国農業新聞は、農業委員会系統組織が発行する農業総合専門紙です。農業経営と、暮らしに役立つ情報をお届けしています。最新の農政情報や地域の特徴ある明るい話題など楽しめる記事が充実しています。

購読料 … 1ヶ月 700円 申込み … 農業委員または農業委員会事務局へ

### 農業者年金のおしらせ 加入で大きなメリットを

農業者年金は国民年金に上乗せした公的な年金制度です。支払った保険料は社会保険料控除の対象になり、所得税、住民税が節税になるメリットがあります。

#### 加入できる人

○国民年金第1号被保険者 ○農業に年間60日以上従事する者

\*詳しい情報は、農業者年金基金ホームページをご覧ください。

### ～ 編集後記 ～

何年かぶりの雪掃きをしない冬、雨不足の春、例年より長い梅雨と猛暑の夏、秋は好天を願います。特定生産緑地の指定手続きを小平市では都市計画課が行います。不明な点は、都市計画課もしくは農業委員会事務局までお問い合わせください。生産緑地、特定生産緑地の指定解除は一代に一回限りとなりますので、今一度ご承知おきください。

【編集委員】淵野 雄二郎 深谷 俊幸 宮寺 達藏 立川 裕之